

協定企業名	日本道路株式会社
交流行事名	第6回「日本道路の森」間伐体験交流会
開催日	平成27年9月12日（土）
開催場所	梶原町仲間 仲間造林生産組合分収林地（日本道路の森）
主な参加者・人数	日本道路株式会社（社員）35名 ※うちH27新入社員11名 梶原町ほか関係者（梶原町職員、仲間造林生産組合）8名、高知県1名 総勢44名
概要	【11日】町内視察 【12日】体験交流会
当日の様子	<p>朝9時に梶原町役場前に集合し、乗用車に分乗して体験交流会を行う現場「日本道路の森」に、30分ほどかけて移動しました。</p> <p>現場に着くと、森の管理をお願いしている仲間造林生産組合代表の土釜さんから歓迎の挨拶と体験活動の説明がありました。50年ほど前に植樹された当時は作業道などなく、急峻な斜面を苗木を背負って登り、植樹した作業の大変さや、その木々が育って、適正な管理のもとFSC認証を受け、2020年の東京オリンピックの施設に利用される可能性があるといった話に感銘を受けました。その後、早速、体験活動を始めました。</p> <p>まず、造林生産組合の方がチェーンソーを使って、樹齢50年ほどのヒノキの大木を伐って見せてくれました。ドスンと大きな音を立てて倒れる様子は、初めて体験交流会に参加した新入社員の方には、大きなインパクトがあったようでした。</p> <p>続いて、参加者が一人ずつ、伐り倒した木をチェーンソーで輪切りにする作業を体験しました。造林生産組合の方の指導のもと、なかなかチェーンソーの始動がうまく出来なかった方もいたり、初めて手にするチェーンソーに戸惑いながらも、皆さん、上手に輪切りにすることができました。</p> <p>また、造林生産組合の方が、グラップルという林業機械（重機）を使って、さきほど輪切りにした切株を7段に積み重ねるといふ妙技を披露してくださいました。</p> <p>その後、新入社員の中から有志が、造林生産組合の方の指導のもと、グラップルを操作して切株の積み重ねに挑戦しました。グラップルの微妙な操作は難しかったようでしたが、積み重ねが成功するたびに歓声が上がっていました。</p>
	 
	<p>これで、午前中の体験活動は終了。「日本道路の森」の看板の前で全員で記念撮影。新入社員のみでの記念撮影も行いました。</p>



再び乗用車に分乗して、ふれあいの家なかいだに移動し、お楽しみの昼食タイム。なかいだの婦人会の方が用意してくださった、お刺身やカツオのタタキ、おうどん、お寿司など、おいしくいただきました。婦人会の皆さん、本当にありがとうございました。



楽しい時間は、あっという間に過ぎて、交流会もいよいよ閉会です。

造林生産組合の土釜さんからお別れのあいさつがあり、日本道路の社員の皆さんにお土産が渡されました。

最後に、日本道路の矢野専務からお礼のあいさつがあり、梶原町とのつながりを大切に、協働の森づくり事業と交流活動に引き続き取り組みたいとお言葉をいただきました。

日本道路の社員の皆さん、お疲れさまでした。

来年も、是非、梶原町へお越してください。